

Qubena (キュビナ) 活用推進による学力向上プロジェクト

1 趣旨

生徒一人ひとりの習熟度に応じた「個別最適な学び」を深化させるため、AI 型教材 Qubena の活用率を意図的に高めます。データに基づいた学習習慣の定着を図り、基礎学力の底上げと「わかる」実感を創出することを目的とします。

2 取組内容

【取組1】「キュビナ・ブーストウィーク」の実施

特定の期間を集中強化週間とし、学校と家庭が連携して Qubena に触れる機会を創出します。

①実施期間: 3学期に3回⇒月1回(1週間設定) ※3年生は、実施しない。

②運用方法: 各学年・各教科からの配信:

5教科の担当者は、その時期の重要単元や復習内容を「ワークブック」として配信する。

家庭学習との連動: ウィーク期間中は、Qubena に取り組ませる。

③見える化:

学級ごとの総解答数や取組時間を放送などで紹介し、ポジティブな競争意識を醸成する。

【取組2】自習課題として積極活用

自習時間の課題をキュビナで配信し有効活用します。

①運用の具体例:

授業後の活用:

授業が早く終わった生徒に対し、「残りの時間は Qubena で解き直し、または先取り学習」を

指示する。

自習時間のメニュー化:

欠勤等による自習時、プリント等の予備課題に加え、「Qubena の〇〇単元を 20 問以上」といった具体的なメニューを提示する。

3 先生方へのお願い(効率化のポイント)

Qubena の活用は、先生方の「採点業務の削減」にもつながります。

自動採点機能の活用:

ワークブック配信により、回収・採点・返却の手間を省き、浮いた時間を生徒への個別指導や教材研究に充ててください。

学習ログの確認:

管理画面から「どこで躓いている生徒が多いか」を把握し、次回の授業構成のヒントにしてください。

4 今後のスケジュール

12月25日(木):操作確認、企画委員会・職員会議にて詳細説明

1月19日(月)~:第1回キュビナ・ブーストウィーク開始